

岐阜工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	電子制御工学実習Ⅰ
科目基礎情報				
科目番号	0014	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科	対象学年	1	
開設期	後期	週時間数	4	
教科書/教材	塩田泰仁著 「はじめてのメカトロニクス」 森北出版株式会社			
担当教員	栗山 嘉文			
到達目標				
以下の項目を目標とする。 ① 機械製作に必要な構築能力、考察能力を身につけることができる。 ② 実験を進めていく上で必要とされるコミュニケーション能力を身につける ③ 課題達成のための設計・製図能力を身につける ④ ものづくりに関わる安全知識の習得なら びに安全意識とモラルの理解				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	機械製作において指導教員からの指示を良く聞いた上で、自ら構築、考察をすることができる	機械製作において指導教員からの指示を仰ぎながら構築、考察をすることができる	指導教員からの指示を理解できず、機械製作をすることができない	
評価項目2	指導教員からの指示や指導に対して丁寧かつ的確な質疑応答をすることができる	指導教員からの指示通りに作業をすることができる	指導教員からの指導を無視する。	
評価項目3	自ら課題達成のための設計・製図を行うことができる	指導教員の指示をへて、設計・製図を行うことができる	指導教員からの指示を理解できず設計・製図ができない	
評価項目4	ものづくりに関わる安全知識の習得ならびに安全意識とモラルを遵守できる	ものづくりに関わる安全知識を理解し、指導教員からの安全意識とモラルに関する指導をされた場合には反省することができる	ものづくりに関わる安全知識がなく、安全意識とモラルに関する指導をされた場合でも反省することができない	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	種々の基本作業、ならびに簡単な機械要素の加工を通じて、機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習する。 また、ものづくりに関わる安全の知識を身につける。			
授業の進め方・方法	1. 授業はクラスを6班に分け、下記表の6テーマの実習の内3テーマを割り当て、各5週ずつ(合計15週)行なう。 2. 実習作業中の問題行動については、随時、指導を行なう 3. 実習開始前の準備として、簡単な指導を行うが、これも成績対象とする。(メールの仕方や靴のサイズの連絡など) 英語導入計画: Technical terms			
注意点	学習・教育目標 (B-1) 20%, (B-2) 70%, (D-3) 10%			
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	6テーマの内の1テーマを実施 (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		2週	6テーマの内の1テーマを実施 (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		3週	6テーマの内の1テーマを実施 (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		4週	6テーマの内の1テーマを実施 (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		5週	6テーマの内の1テーマを実施 (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		6週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		7週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		8週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
	4thQ	9週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		10週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		11週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		12週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		13週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		14週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		15週	6テーマの内の1テーマを実施、ただし実施済のテーマは行わない (ALのレベルC)	機械や測定器の取扱い方を学ぶとともに、電子部品の組立および機器制御の基礎を実習
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週			
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	工作	アーク溶接の接合方法とその特徴、アーク溶接の種類、アーク溶接棒を説明できる。	2	後8			
				バイトの種類と各部の名称、旋盤の種類と構造を説明できる。	2	後2			
				フライスの種類と各部の名称、フライス盤の種類と構造を説明できる。	2	後2			
				ドリルの種類と各部の名称、ボール盤の種類と構造を説明できる。	2	後3			
				切削工具材料の条件と種類を説明できる。	2	後4			
				切削速度、送り量、切込みなどの切削条件を選定できる。	2	後5			
				切削のしくみと切りくずの形態、切削による熱の発生、構成刃先を説明できる。	2	後6			
				研削加工の原理、円筒研削と平面研削の研削方式を説明できる。	2	後7			
	分野別の工学実験・実習能力	機械系分野【実験・実習能力】	機械系【実験実習】	実験・実習の目標と心構えを理解し、実践できる。	3	後1			
				災害防止と安全確保のためにすべきことを理解し、実践できる。	3	後1			
				レポートの作成の仕方を理解し、実践できる。	3	後1			
				ノギスの各部の名称、構造、目盛りの読み方、使い方を理解し、計測できる。	3	後9			
				マイクロメータの各部の名称、構造、目盛りの読み方、使い方を理解し、計測できる。	3	後10			
				ダイヤルゲージ、ハイトゲージ、デプスゲージなどの使い方を理解し、計測できる。	2	後11			
				けがき工具を用いてけがき線にかくことができる。	3	後12			
				やすりを用いて平面仕上げができる。	3	後12			
				ねじ立て工具を用いてねじを切ることができる。	3	後13			
				アーク溶接の原理を理解し、アーク溶接機、アーク溶接器具、アーク溶接棒の扱い方を理解し、実践できる。	2	後8			
				アーク溶接の基本作業ができる。	2	後8			
				旋盤主要部の構造と機能を説明できる。	3	後13			
				旋盤の基本操作を習得し、外丸削り、端面削り、段付削り、ねじ切り、テーパ削り、穴あけ、中ぐりなどの作業ができる。	3	後13			
				フライス盤主要部の構造と機能を説明できる。	3	後14			
				フライス盤の基本操作を習得し、平面削りや側面削りなどの作業ができる。	3	後14			
				ボール盤の基本操作を習得し、穴あけなどの作業ができる。	3	後14			
				NC工作機械の特徴と種類、制御の原理、NCの方式、プログラミングの流れを説明できる。	2	後15			
				少なくとも一つのNC工作機械について、各部の名称と機能、作業の基本的な流れと操作を理解し、プログラミングと基本作業ができる。	2	後15			
評価割合									
				技能評価	レポート評価	安全意識とモラル	合計		
総合評価割合		40	40	20	100				
基礎的能力		40	40	20	100				